

# シラバス

科目名	一般教養国語		単位数	2 単位	学年・学科	3 学年・全学科	展開		選択 I
教科書名				副教材名					
科目の目標	国語に関する知識・教養を掘り下げ、適切に理解し、表現する態度を育てる。伝え合う力を高めるとともに、論理的な思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語文化に対する関心を深め、その向上を図る。								
学習内容と進め方	進学・就職両方の進路に対応し得る内容を精選して学ぶ。現代文・表現、古文・漢文、文学史等について、基礎的な知識の確認から応用までを扱う。教材の解説と、プリント・問題集等による演習を行う。また、言語文化の進化を図るため、書写分野を取り入れる。								
学習の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習・復習に取り組ませることで、より理解を深め、問題を解く力を身に付けさせる。</li> <li>・意見・感想を吸い上げることで、論理的な思考と他者に伝える力を身に付けさせる。</li> </ul>								
月	単元	予定時数	具体的な学習内容	評価の観点			評価の基準	評価方法等	
				1	2	3			
4	世の中を知る (1)	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界で起こっているリアルタイムの情報、ニュースを通して、なぜそうなるのか、どうすべきかなどを考える。</li> <li>・書写分野 九成宮醴泉銘</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該情報やニュースの主語と述語の関係を把握し、要約ができる。</li> <li>・自分が当事者だったらという視点で、何かしらの感想を持つ。</li> <li>・整齊な楷書を表現できる。</li> </ul>	要約文・感想の記入  作品評価	
	5 6	適切な表現をしよう	8 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表記するための語彙を増やす。</li> <li>・実践演習 (作文)</li> <li>・書写分野 集字聖教序</li> </ul>	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字検定2級程度の語彙を扱える。</li> <li>・正しい表記と効果的な構成で感想文を書ける。</li> <li>・流麗な行書を表現できる。</li> </ul>
7	創作をしよう	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短歌や俳句、シナリオなどが、どういう構造できているか理解し、創作につなげる。</li> <li>・書写分野 条幅制作</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作物の構造に着目して表現を工夫している。</li> <li>・他者の創作物に対して、批評ができる。</li> <li>・既習古典を条幅に表現できる。</li> </ul>	創作物 演習プリント 意見交換  作品評価	
8 9	古文・漢文を学ぼう	3 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「源氏物語」を中心として、上代～近世の作品の概略を学ぶ。</li> <li>・「孔子」を中心に中国の詩人や諸子百家等を学ぶ。</li> <li>・書写分野 篆書を学ぼう</li> </ul>	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的な常識の違いを認識し、古典を積極的に味わうことができる。</li> <li>・場の状況に応じた的確に訳せる。</li> <li>・篆書作品を表現できる。</li> </ul>	演習プリント  作品評価
10	美しく書こう	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の表記法について理解する。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・硬筆書写検定2級程度の表記ができる。</li> </ul>		演習用原稿用紙
11 12 1 2	世の中を知る (2)  (家庭学習期間)	8 8 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践演習 (小論文)</li> <li>・書道分野 漢字かな交じりの書</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該情報やニュースの主語と述語の関係を把握し、要約ができる。</li> <li>・正しい表記をする、自分の考察を効果的段落構成を用いて自分の意見を論述できる。</li> <li>・自ら選定した語句を創意を凝らし表現できる。</li> </ul>	要約文・感想の記入 ・建設的な意見の記入	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 評価の観点については、下記の表の通りとする。</li> <li>(2) 具体的には定期考査や小テストの成績、プリント・小論文等の演習・提出状況、制作作品、学習活動への取り組む態度などから総合的に評価する。</li> </ul>								
評価の観点	観点	趣 旨							
	1 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者・筆者の考えや主張を的確に読み取り、それに沿った自己の意見を構築することができる。</li> <li>・文学史や作品の背景を理解し、読解の一助とすることができる。</li> <li>・表現できる技術を習得している。</li> </ul>							
	2 思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域について、様々な情報を関連づけながら要旨を的確に捉えることができる。また、文章の要点や自己の意見を論理的に叙述でき、他者との関わりの中で適切な語彙を用いて意思の疎通や意見交換を行い、自他を高め合うことができる。書写分野では、客観的な特徴を踏まえた上で独自性を表現できる。							
3 主体的に学習に取り組む態度	言葉による思考の過程で、作品や文章からものの見方・考え方・自己の心情を深めようとし、また、その能力・資質の向上を意欲的に図ろうとしている。合わせて自己の進路等を鑑みながら教材全般に積極的に興味関心を持ち、予習・復習・演習等に励むことで基礎から応用まで幅広く力を身に付けようとしている。								
評価基準	1 知識・技能	A 基礎から応用まで論理の展開を理解し、語彙や文学史の知識を身に付けている。 B 基礎的な論理の展開を理解し、実社会に必要な語彙や文学史の知識を概ね身に付けている。 C 基礎的な論理の展開や、語彙・文学史の知識が不十分である。							
	2 思考・判断・表現	A 情報を関連づけて的確に要旨を捉え、論理的且つ明快な叙述・意見交換をする力を身に付けている。 B 情報を関連づけて要旨を捉え、論理的且つ明快な叙述・意見交換をする力を概ね身に付けている。 C 情報を関連づけて要旨を捉え、論理的且つ明快な叙述・意見交換をする力が不十分である。							
	3 主体的に学習に取り組む態度	A 作品や文章から新たな情報を探り、自己の心情を深め、自らを向上させようとする姿勢が顕著である。 B 作品や文章から新たな情報を探り、自己の心情を深め、自らを向上させようとする姿勢が見られる。 C 作品や文章から新たな情報を探り、自己の心情を深め、自らを向上させようとする姿勢が見られない。							